

「香川の魅力×高松松平家博物図譜 ～魅力紹介パネルの制作～」

香川大学教育学部附属坂出中学校 渡邊 洋往

1 実施学年 2年生

2 学習のねらいと博物館の活用との関連について

(1) 主題名

香川の魅力×高松松平家博物図譜 ～魅力紹介パネルの制作～

(2) ねらい

高松松平家博物図譜から選んだ作品と香川県の魅力と組み合わせて構成する作品を制作することを通して、高松松平家博物図譜のよさを自分なりに発見し、自分が再発見した香川県のよさと組み合わせて表現することができる。

(3) 博物館との関連

活用した資料：「自然に挑む 江戸の超グラフィック 高松松平家博物図譜」図録
「高松松平家博物図譜」デジタルデータ

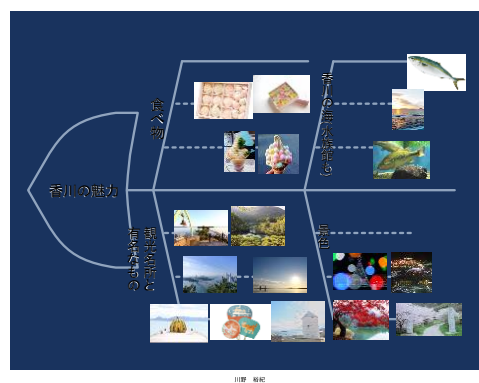
3 指導計画（7時間）

内容	主な活動	学習課題	備考
1 導入・香川の魅力調べ	・制作の説明。全員で香川の魅力を伝える掲示物の作成。1人1種類の図を選ぶ。県外、世界から来た方に伝えたい魅力と図譜の面白さを伝える。 ・個人「香川（日本）の魅力」とはどんなものがあるかをロイロノートで調べる。自分のノートに画像を保存 ・自分の発信したい「魅力」と組み合わせて、香川のよさ、日本のよさを伝える。	博物図譜について知ろう	・廊下に博物図譜の全ページの拡大印刷を掲示。
2 香川の魅力分析	・ロイロの思考ツール・フィッシュボーンで分類、発表。 ・フィッシュボーンで各班から出たキーワードを参考に、自分の取り上げる香川の魅力を選ぶ。素材探し。 ・図譜の生物選び	香川の魅力はどんなものがあるか	・廊下に掲示した図譜一覧から取り上げたい図を選ぶ →ワークシートに記入、提出。掲示には付箋を貼る。
3 パネル切り・素材集め・アイデアスケッチ	・パネルを6角形に切る。素材の量感を知る。 ・自分の選択した図譜を受け取り、大きさの確認。 おおよそのデザイン、制作計画を立てる。		・生徒の選んだ図譜作品を印刷しておく。
4 制作			
5 制作			
6 制作			
7 仕上げ・名札づくり・配置検討・鑑賞会	・パネルの解説文を書く。 ・クラス全体の配置を考える。 ・クラスの配置で鑑賞会		

4 実践の概要



テーマにする図譜を選ぶ



思考ツールで香川の魅力を分析



図譜×香川の魅力作品



個人の作品を集合させたもの

5 成果と課題

(1) 成果

- ・ 1人1作品をモチーフに選択することで博物図譜への愛着をもつことができた
- ・ 六角形のパネルに表現したことで、個人作品を繋ぎ、集合の美を感じさせることができた。
- ・ 香川の魅力、博物図譜を印刷、コラージュし、手描きの要素を加えることで、生徒の描画の技能差によらず、自分のテーマに合った表現をすることができた。

(2) 課題

- ・ 博物図譜と香川の魅力という2つのテーマについて表現したため、授業時数が多くかかった
- ・ 博物図譜と香川の魅力という2つのテーマについて表現したため、生徒が表現するねらいを深めることができなかった

(3) 博学連携の視点から

- ・ 博物図譜に描かれたすべての動植物（全2,141種）のデジタル資料を用いることで、生徒のより幅広い表現を促すことができた
- ・ 展覧会の動画（特別展「自然に挑む 江戸の超(スーパー)グラフィックー高松松平家博物図譜（ここまで描く!?)」PR動画《香川県》）を鑑賞させることで、図譜の細部が拡大して紹介されているため、実際の作品が見られない環境でも図譜の技巧や表現について鑑賞することができた。